

発言(要旨)

発言した代議員 (敬称略)

- ・加藤健太郎【東北信】
- ・等々力孝之【中南信】
- ・関 竜馬【東北信】
- ・牧野 聡【東北信】
- ・阿部 雄太【東北信】
- ・堀内 崇【中南信】

【組織】  
 ・苦勞して連車部会を再建し、たたかいをしてきたのに今日の組織状態をみると非常に残念。  
 ・多くの脱退した仲間から「本当に東労組は変わったのか」と聞かれる。正直、現状では戻って来いといえない。  
 ・このままでは組織が本当になくなってしまつ。  
 ・これまでの東労組運動を見つめ直す必要がある。  
 ・本部には組合員の声をしっかり受け止めてもらいたい。  
 ・入社時の採用制度によって賃金に差をつけないでほしい。  
 ・東日本グループ全体で賃金について目を向けたたかひをしてもらいたい。  
 ・発言は聞くが回答はいつも同じという組織に戻ってはいけない。  
 ・上司にものを言えない。

い職場風土のなか束縛した環境で業務をしている。  
 ・職場内で集会をできる状況にない。組合員以外の仲間も参加できる集会を外部の施設を使って行いたい。  
 ・スト権に頼らないというスローガンには労働組合として武器を捨てることを意味するので違和感を感じる。  
 ・職場を残すために、施策に対してはただ反対してはいけな。また、雇用を守るたたかひをしなくてはいいけない。  
 ・1つ1つの声を集めない個人個人の幸せは守れない。そのことから組織強化に繋がっていかんとする。  
 【業務】  
 ・ジョブローテーションは安全が保たれない。将来に不安はない。  
 ・ジョブローテーションについて管理者さん

え詳細を知らず社員  
 の不安をより深刻にしている。  
 ・現場長の説明は上から目線の「社員ならしたがってもらう」という理不尽なもの。  
 ・施策の内容が一方的にタブレットに送られるだけで詳しい説明がなく不安だけがつのる。  
 ・社員説明会といってもタブレットに送られた情報を言うだけで質問をしても曖昧なものだけで解決にならない。  
 ・施策に対して労働組合として真つ向からたたかう。

について会社の施策  
 によって駅に社員がいないから首都圏に帰ってからの処理をお願いしている。お客さまからすればこの対応は考えられない。  
 ・バス職場では慢性的な要員不足が生じている。



大会宣言

私たちは、7月11日長野バスターミナル会館において、JR東労組長野地本第35回定期大会を開催し、向こう一年間の方針を満場一致で確認した。

新生JR東労組運動を前進させるためには、組合員に信頼される組織にしなくてはならない。そのためには誤魔化すことなく、わかりやすく、納得のいく運動をつくり上げなくてはならない。JR東労組は組織と組合員を守るため、いかなる組織破壊者や行為を許さず断固としてたたかいていく。

4月29日、国土交通省からJR東日本の重大時期に発生させた輸送障害に対して警告文章が出された。お客さまからの信頼を揺るがす重大な事態を厳粛に受け止めてはならない。東労組として安全問題は絶対に譲れない。労使共にお客さまの信頼を失墜させないよう取り組んでいく。

会社から「変革2027」を踏まえたジョブローテーションなど新たな施策が矢継ぎ早に示された。職場では施策の詳しい内容が示されていないため、将来への不安を感じながら業務をしている仲間がたくさんいる。そうした不安を解決し、働く者が幸せと感じることができ、仲間と共に雇用と利益、そして働き甲斐を最大限得られるように労働組合運動を全組合員で推し進めて行かなくてはならない。

沖縄では辺野古への新基地建設反対を公約に掲げた玉城デニー知事が誕生し、沖縄県民の平和を守るため奮闘している。今年2月に行われた辺野古埋め立てに対する県民投票では反対が総投票数の70%を超え民意はここでも示された。しかし、安倍政権は埋め立て工事を止めることなく新たな埋め立てを強行した。また、年金制度の破綻や老後の資金として夫婦二人で2000万円が必要とされる報告書の問題など、私たちが今後生活して行く上で重要なことでさえも蔑ろにされようとしている。来る7月21日に行われる参議院選挙によって政治を私たちの手に取り戻さなくてはならない。そして、安倍政権の暴走を止めるためにJR東労組と共闘する候補者の勝利を目指そう。

東労組運動の原点に立ち、全組合員参加の労働運動をつくり出そう。そして、職場活動を源泉とした運動を職場から創り出そう。新生JR東労組運動の発展と強化を通じて、組合員とその家族の幸せと労働条件の向上を実現していく。本部、全12地本の総団結の旗のもと全組合員で運動を推し進め難局を切り拓いていこう。

以上、宣言する。

2019年7月11日

東日本旅客鉄道労働組合  
 長野地方本部  
 第35回定期大会

2019年度長野地本執行部

役職	氏名	職場
執行委員長	古畑 隼人	小海線営業所
執行副委員長	畔上 賢一	小海線営業所
執行副委員長	笠井 康晴	総務部人事課 (出向)
書記長	奥山 直樹	長野新幹線保線技術センター
組織・研修部長	柳澤 直之	佐久平駅
組織・研修担当部長	池上 友英	JRバス下諏訪
情宣部長	大槻 孝一	長野総合運輸区
情宣担当部長	松野 隆弘	JRバス伊那
業務部長	和田 勝也	長野総合運輸区
業務担当部長	曲尾 優一郎	長野駅
政策部長	黒岩 和樹	JRバス小諸
総務担当部員	浅田 ちひろ	
会計監査	児玉 直樹	総務部人事課 (出向)

お知らせ

長野地本FAXニュースがJR東労組のホームページでも見られます。ぜひ、ご覧ください。

JR東労組ホームページで検索

J R 東 労 組

検索



前会計監査の杉村正樹さん

退任された執行部



議長の東北信支部黒岩代議員